

【基本方針 I】

未来を切り拓く子どもを育む小中一貫教育の推進
～学びの連続性を大切にした教育の充実～

【取り組む施策】

- ①「確かな学力」の育成
- ②夢や志を持ち挑戦する力の育成
- ③「豊かな心」の育成
- ④「健やかな体」の育成
- ⑤インクルーシブ教育の充実
- ⑥幼児教育の充実

【現状の課題】

- 小中一貫教育の更なる推進
- 一人1台の学習者用端末の効果的な活用
- コミュニケーションを重視した英語授業
- ふるさと学習「かとう学」の教科横断的な展開
- 地域と協働した部活動改革
- 教員の指導力の向上
- 学校給食を活用した食育指導
- 子育て家庭の多様なニーズに応じた幼児教育・保育サービスの充実
- 切れ目ない支援体制の充実



【今年度、重点的に取り組む内容】

- ②夢や志を持ち挑戦する力の育成

(内容)

◆子どもの主体性・創造性を高める活動

集団の中で主体的に活動し、協働して物事に取り組もうとする姿勢を育むとともに、自分の将来を主体的に創造しようとする子どもを育成するため、縦割り班活動や、小中学校間の児童生徒交流等を実施する。

◆キャリア教育の充実

「キャリアパスポート」を活用し、小学校から高等学校までの12年間を通じたキャリア形成を図る取組を充実させる。また、トライやる・ウィークをはじめとする兵庫型「体験教育」や校外学習を行い、社会に触れる機会の充実を図る。

◆ふるさと学習「かとう学」の実践

ふるさとへの自信と誇りをもって行動し、地域へ貢献しようとする意欲を高めるために、ふるさと学習「かとう学」副読本を小中学校で教科横断的に活用して、地域の教育資源を生かした教育活動を実践する。

◆人権教育講演会の開催

生命の大切さや人権尊重の心の育みとともに、夢を持つすばらしさを伝えるため、5年生以上の児童生徒を対象に、人権教育講演会を開催する。

⑥幼児教育の充実

(内容)

◆保育士キャリアアップ研修の実施

教育・保育の更なる資質向上を図るため、保育士・保育教諭等を対象に、8分野の研修科目の中から年2分野ずつ計画的に実施している。今年度は保健衛生・安全対策分野とマネジメント分野を開催する。

◆幼児期人権教育指導者養成セミナーの実施

幼児期における人権感覚の育成を図るため、市内の保育所等に勤務する職員を対象に人権感覚を養う実践プログラムを取り入れたセミナーを開催する。

◆新規卒業者や潜在保育士等を対象とした就職フェアの実施

保育の職場に就労を希望する卒業生及び潜在保育士の就職につなげるため、従来の会場型に加え、施設見学バスツアー型の就職フェアを開催する。

【基本方針Ⅱ】

子どもの学びを支える教育環境の整備

【取り組む施策】

- ①学校の組織力及び教職員の資質能力の向上
- ②家庭・地域の力を生かした教育の充実
- ③学校施設の整備と就学支援

【現状の課題】

- ICT 環境の維持管理
- 小中一貫校の整備と学校施設の整備
- 社会総がかりでの教育の実現と地域の活性化
- 子育て支援と親の学びの機会の提供
- 教職員の働き方改革
- 本市と兵庫教育大学との連携強化



【今年度、重点的に取り組む内容】

- ②家庭・地域の力を生かした教育の充実

(内容)

- ◆「地域とともにある学校づくり」(学校運営協議会)と「学校を核とした地域づくり」(地域学校協働本部)

保護者や地域住民が、育てたい子ども像や目指す教育ビジョンを学校と共有し、学校運営協議会を年4回開催してその実現に向けて協働することで、「地域とともにある学校づくり」に取り組む。また、地域住民や団体等との連携・協働による緩やかなネットワークを形成しながら、地域学校協働活動推進員を中心に地域学校協働活動を推進し、「学校を核とした地域づくり」を目指す。

- ◆子育て及び子育て支援に関する講座や育児相談等の実施

児童館の各年齢に応じたひろば活動を定期的の実施するとともに、児童館の子育て相談を随時受け付けることで体制を整える。また、かとう子育てセミナーを秋に開催する。

- ◆保護者対象の研修の実施(連合PTA研修会、情報モラル研修会、インクルーシブ研修等)

地域、保護者と学校が協働して子どもたちを育成するという意識の向上を図るため、保護者対象の研修会を開催する。

◆子どもの安全・安心を見守る体制づくり（地域見守り隊、ネット見守り隊、巡回等）

地域の有志やPTAによる交通立番や青色パトカーでの巡視、通学路安全プログラムなどの児童生徒の安全な登下校の支援、有害情報や SNS 上のトラブルから子どもたちを守るネット見守り隊活動などにより、子どもたちや地域の安全安心を育む活動に取り組む。

③学校施設の整備と就学支援

（内容）

◆東条地域小中一貫校建設工事の竣工

令和3年11月末の竣工を目指して工事を進めるとともに、3学期（令和4年1月）から新校舎による小中一貫教育を開始する。

◆社地域小中一貫校の本体工事着手に向けた実施設計

社地域小中一貫校の開校に向けて、令和4年度からの本体工事着手に向けた実施設計と、先行するカセ池造成工事を完了する。

◆既存学校の計画的な改修と修繕

小中一貫校の建設を見すえて安全で快適な学校生活を確保するため、長寿命化計画に基づき、既存学校施設における必要な改修を、学校の運営に支障が出ないよう実施する。

【基本方針Ⅲ】

人生100年時代の到来を見すえた生涯学習の推進

【取り組む施策】

- ①多様な学習機会の充実
- ②人権教育・啓発の推進
- ③文化芸術の振興
- ④文化財の保護と活用・継承
- ⑤生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進
- ⑥社会教育施設及び社会体育施設の効率的な管理・運営
- ⑦図書館サービスの充実

【現状の課題】

- 各世代における学習内容のニーズ把握
- 継続した事業・学習の機会の提供（居場所の確保）
- 学びを地域還元する仕組みづくり
- 施設の老朽化に伴う適正な維持管理
- 適切な管理運営方法の検討（主に社会体育施設）
- 来館困難者への対応方法の検討と実施（図書館）



【今年度、重点的に取り組む内容】

①多様な学習機会の充実

（内容）

◆学習内容のニーズを把握するためのアンケート調査の実施

新たな参加者の発掘や、より充実した学習内容を提供するため、成人学習事業をはじめとする生涯学習事業の参加者を対象に、興味のある学習内容等を把握するためのアンケート調査を実施する。

◆新たな「居場所」の確保（学びの場所・機会の提供）

旧東条西小学校体育館を活用して、小学生チャレンジスクールを展開し、新たな「居場所」（学びの場所・機会）を提供するとともに、旧東条西小学校跡地でのにぎわいの確保を図る

⑥社会教育施設及び社会体育施設の効率的な管理・運営

(内容)

◆長寿命化計画（施設個別計画）策定にむけた調査の実施

社会体育施設（文化施設除く。）について、今後長年にわたり適正に維持管理を進めていくために、施設個別の長寿命化計画を策定するため調査（アスベスト含有建材調査）を実施する。なお、東条第一体育館については、耐震診断も含め調査する。

◆指定管理者制度導入の調査、検討

社会体育施設における指定管理者制度（令和4年度）の導入に向けて、指定管理者の選定方法など具体的内容を検討する。